

『自由は大山の麓より』

自由民権の碑を建立

相州で最初の自由民権運動の結社「湘南社」の創立 135 年を記念して、雨岳文庫敷地内に「自由民権の碑」が建立されました。碑には安在国雄早稲田大学名誉教授の揮毫による「自由は大山の麓より」という言葉が刻まれています。この碑の建立のために、約 190 人の方が趣旨に賛同し協力して下さいました。

碑の建立を記念して、6 月 5 日、高山伊勢原市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、相州自由民権百三十五周年建碑実行委員会主催の除幕式が行われました。山口左七郎ゆかりの人や研究者ら 100 名以上の方々にお集まりいただきました。

公益財団法人 雨岳文庫の野崎理事長の挨拶に引き続いて、来賓の皆さまから祝辞をいただきました



が、それらのお話の中で、雨岳文庫資料館の初代館長で自由民権運動研究家の故大畑哲先生の言葉である『自由は大山の麓より』を碑に刻んだ思いなども紹介されました。式が始まる頃には降り続いていた雨が上がり日も差してきて、まるで民権の碑の建立を天から大畑先生も喜んで見ているようでした。



セレモニー後、新井勝紘専修大元教授による「日本国憲法の源流を求めて～神奈川民権が生んだ「五日市憲法草案」の先駆

性に学ぶ～」と題する記念講演会がありました。明治維新时期と第二次大戦後の新憲法論議、その後の自主憲法論議の三期に分けた上で、現在は第四期に突入しており大事な論議の時代であることをお話しされました。

また、資料館では自由民権の資料「山口左七郎と湘南社」の展示があり、離れではお茶のおもてなしがありました。

今回の碑の建立を通して、「自由民権運動」を単に過去の出来事とするのではなく、その志には、現在の日本社会においても見直されるべき部分があるように感じます。

自由民権資料展

「山口左七郎と湘南社」を開催

7 月、8 月の土曜日、日曜日に雨岳文庫資料館で自由民権資料展『山口左七郎と湘南社』を開催し、併せて山口家住宅も公開しました。熱心なお客様も来られ、待機していた説明者が解説しました。



二の鳥居周りの管理

雨岳文庫クラブのみなさんが、一年間を通して、雨岳文庫の敷地や畑とともに二の鳥居周りの整備をしてくれています。殺風景だった場所に花を植えたり草取りをしたりして環境を整えてくれており、雨岳文庫の来館者だけでなく、大山への観光客の目を楽しませてくれています。



家族そろってお茶摘み体験

5月8日、五月晴れの中、一般参加者、ご近所の皆さんとスタッフを含め約70名で、85Kgの茶葉を摘みました。梅林の木陰で100年近く大切にされてきたお茶畑で、子どもたちも一緒に楽しく茶摘みが出来ました。



この前日の7日には、東京農大オープンカレッジの3回目、「茶摘みと手もみ茶づくり」講座が行われ、翌日の9日には、近所の皆さんと茶摘みをしました。

文化財ウォーク①

5月21日、文化庁文化芸術振興費補助事業で伊勢原市歴史文化遺産活用実行委員会主催、NPO雨岳文庫を活用する会が担当する文化財ウォークが行われました。今年度は田村通大山道を4回に分けて、雨岳ガイドの会の皆さんの解説を聞きながら歩きます。

第1回目は「田村通大山道：開村400年の伊勢原」と題して、沼目の八坂神社から伊勢原大神宮まで、約4.5Kmをガイドの皆さんの解説を聞きながら歩きました。参加者39名スタッフ17名でした。



2回目は、9月17日(土)「海からの大山道『須賀と平塚宿』」、3回目は、12月17日(土)「明治・大正の大山道『平塚通大山道』」、4回目は、3月18日(土)「比々多神社周辺と矢倉沢往還」です。多くの方の参加をお待ちしています。

歴史講演会

3月21日、文化庁文化芸術振興費補助事業で伊勢原市歴史文化遺産活用実行委員会主催の事業が行われました。

午前中は、伊勢原市文化財協会が担当する、「平成27年度・伊勢原市内石造物調査活動報告会」が、雨岳文庫資料館において、伊勢原市文化財協会会長の櫻井勇氏を講師に行われました。

午後は、NPO法人雨岳文庫を活用する会(雨岳ガイドの会)が担当する歴史講演会が行われました。公益財団法人雨岳文庫の評議員であり、伊勢原市文化財審議委員の川島敏郎氏を講師のお招きし、「大山研究の回顧と展望」の講演会が山口家住宅の奥の間で行われました。



春色フェスタ

2月27日から春色フェスタが始まりました。初日は、伊勢原甲冑隊や高山市長の他、多数の来賓の方々を迎えてオープニングセレモニーが開かれましたが、クルリンが登場したり、子どもたちのヒップホップ、日本舞踊、伊勢原市子ども科学館によるシャボン玉遊びがあったりしました。好天に恵まれ子供達も大喜びでした。



2日目以降も最終日の3月6日の“第4回ふるさと会 大集合”まで、比較的天気に恵まれ、多くの方が来られました。踊りやダンス、演奏の他、各種の出店や雨岳自然の会のポン菓子実演も盛況でした。

雨岳文庫のお茶について

上原美奈子氏 寄稿(抜粋)

1) 雨岳文庫の茶園の貴重性について

伊勢原にいち早く春を告げる雨岳文庫の茶園の梅。この梅の木に茂る青い葉が足元の美味しいお茶を育てていることはご存知でしょうか。茶園の入り口にある立て札にはそんな説明が添えられています。



明治期には、町の商家の何軒かは店裏に2~3反の自園茶の畑を持っていたそうです。幕末になると、近代経済化は農村にも及び農家でも桑や茶の木を植えて換金作物としました。茶の種類は、今でいう在来種です。当園では、茶畑に梅の木と一緒に植えて、半日陰を作り、茶の葉を柔らかくする工夫をしたそうです。お茶の時期になると、駿河や狭山からお茶師を招き、近隣の人たちが製茶の技術の習得方々集まって、皆でお茶を作りました。お茶が出来上がると、大山街道に面した門の脇に緑の旗を出して、通る人たちにも商いました。今では、かつての茶畑もマンションなどに変わって、わずか「茶加藤本店」さんの名にその名ごりを残すのみとなりました。

雨岳文庫の資料「収入録」をまとめた「実収表」(明治18年~24年)に、明治18年(1885年)の年収1623円について、米が554円(14.3%)、養蚕が32円(2.0%)、製茶が66円(4.1%)という記録が見られます(津田政行氏調べ)。すると雨岳文庫のこの茶の樹齢は少なくとも130年。この資料の記録が農産物として軌道に乗ってからの数字であると考えれば、樹齢はさらに古いものと考えられます。

日本において樹齢100年を超える茶園は数えるほどしか確認されていません。しかも、それが現役の茶園となるとその存在はかなり貴重なものです。茶の経済的樹齢は50年ほどを言われていますから、現在も現役で美味しいお茶を販売していることを考えると、長きにわたり丁寧な栽培が継承されてきたことがうかがわれます。

2) 雨岳文庫の茶で紡ぐ文化活動について

茶の季節には街道に緑の旗を立て大山詣での人々にも茶の商いをしたといひます。当時の茶の仕上がりは、また喫茶の様子はどうであったことでしょうか。茶は、文化財である山口家の建物の歴史や伊勢原の歴史を語る1つのツールでもあります。

以下、雨岳文庫で行ってきた「お茶で文化を発信する」活動をご紹介します。

2-1) 物語の発信

雨岳文庫のお茶を喫しながら地域の歴史的な人物について掘り下げる

2-2) 地域ブランドの発信

雨岳文庫のお茶で新たな地域ブランドの可能性を探る
いせはら紅茶 大山烏龍茶 阿夫利釜炒り茶 樹齢150年の茶 梅香る茶 雨岳の茶 など

2-3) 人的交流と新しいネットワークの発信

雨岳文庫のお茶でつくったお茶を楽しむお茶会を開催する
地元から、厚木から、清川から、横浜から、平塚から、東京から、静岡から、千葉から人が集まる。お茶好き、歴史好き、自然が好きならびっこも集まった。

※上原美奈子氏プロフィール

(茶畑農民 茶畑が茶室の茶道家)

NPO 法人日本茶インストラクター協会理事、東京国際大学付属日本語学校茶道クラブ講師等、日本茶インストラクター、裏千家茶道助教授、煎茶道清泉幽茗流講師、中国茶茶藝師



雨岳文庫収穫祭

- 【日時】11月13日(日)
午前9時半~午後2時
- 【内容】○いも掘り、焼いも、落花生煎り
…雨岳文庫クラブ
○どんぐり教室
…伊勢原グリーンインストラクター
○スーパー竹とんぼ
…雨岳文庫クラブ
○シャボン玉の実験
…伊勢原市子ども科学館
○ギター演奏(予定)
○ミツバチの採蜜(予定)
…雨岳自然の会
○模擬店
…ポン菓子、農産物
手作り菓子(予定)
- 【参加料】500円/1家族
- 【その他】○昼食は各自で用意
○手袋、シャベル等は各自用意
○とん汁を配る予定
○お年寄りや幼児の休憩場所あり
○当日は、山口家住宅は休館
資料館は開館
- 【申込み】11月1日(火)受付開始
19時~21時
電話(0463-95-0002)

秋から冬の主なスケジュール

期日	行事	主催・担当	時刻等	参加費	申込み方法等
9 9 金	古文書調査	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	14 時 ～16 時	無料	随時申込み
9 17 土	文化財ウォーク 「海からの大山道『須賀と平塚宿』」	伊勢原歴史文化遺産 活用実行委員会 公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	9 時 ～15 時	200 円	メール or 電話 先着 45 名
9 22 木	第 2 回「能を知る楽しみ」	古典芸能を守る会	13 時半 ～15 時	千円	問合せ (佐藤) 090(1802)7091
10 9 日	交通の変遷と大山道展Ⅱ ～「参詣道の石段」と 「バス路線延長の歴史」～ 来年3月までの日、祝日に開催	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	10 時 ～15 時	未定	申込不要
10 14 金	古文書調査	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	14 時 ～16 時	無料	随時申込み
11 6 日	国登録有形文化財特別公開	伊勢原市教委 文化財課 NPO活用する会	10 時 ～15 時	無料	申込不要
11 11 金	古文書調査	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	14 時 ～16 時	無料	随時申込み
11 13 日	雨岳文庫収穫祭	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会 自然の会	9 時半 ～14 時	500 円/1 家族	11/1～ 19:00～21:00
12 9 金	古文書調査	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	14 時 ～16 時	無料	随時申込み
12 17 土	文化財ウォーク 「明治・大正の大山道『平塚通大山道』」	伊勢原歴史文化遺産 活用実行委員会 公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	9 時 ～15 時	200 円	メール or 電話 先着 45 名
1 13 金	古文書調査	公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	14 時 ～16 時	無料	随時申込み
2 12 日	家族そろって味噌づくり	公財:雨岳文庫 MPO 活用する会	13 時 ～15 時		
2月25日 ～ 3月5日	春いろフェスタ(詳細未定) 《各種イベント、模擬店等》	春いろフェスタ 実行委員会	10 時 ～15 時	無料	申込不要 期間中毎日実施
3 18 土	文化財ウォーク 「比々多神社周辺と矢倉沢往還」	伊勢原歴史文化遺産 活用実行委員会 公財:雨岳文庫 NPO 活用する会	9 時 ～15 時	200 円	メール or 電話 先着 45 名

※山口家住宅及び資料館は、原則として、毎日曜日に開館します。

※原則として第2・4日曜日は、「雨岳文庫クラブ」の活動日(雨岳文庫庭内の整備)になっています。

※表中の、“公財：雨岳文庫”は「公益財団法人雨岳文庫」、「NPO 活用する会」は「特定非営利活動法人雨岳文庫を活用する会」、「自然の会」は「雨岳自然の会」を表します。

※「雨岳自然の会」の連絡先は、『ugakusizen@gmail.com、田中：080-9705-3553』です。

お申込み、お問合せ先

雨岳文庫 (山口)

TEL/FAX : 0463-95-0002